

平成31年度事業計画（総括）

I. 国・県予算の状況

・財政運営指針を踏まえ、既存事業の見直し・点検が徹底して行われる中、県からの予算は、H30を超える予算額を確保

(1) 国(厚生労働省)

若年者地域連携事業(全国枠)

H30 12.4億円 → H31 12.5億円 (+0.8%)

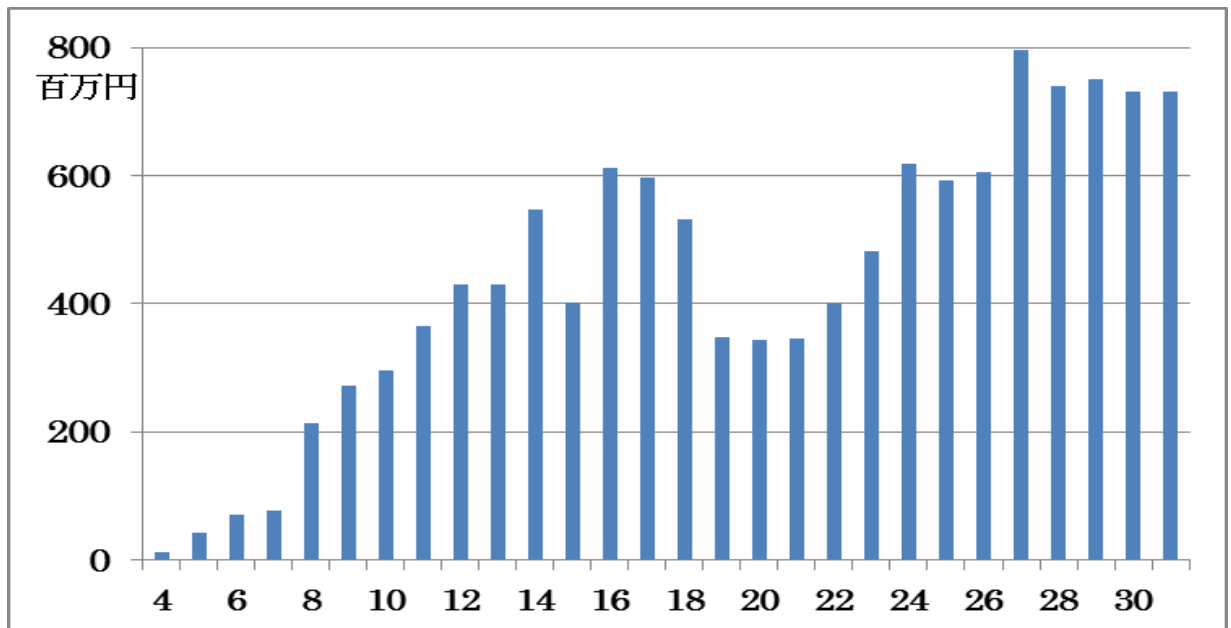
(2) 定住関連予算(県しまね暮らし分)

H30 584百万円 → H31 714百万円(+18.2%)

(3) 定住財団の予算

(単位：百万円)

財源区分		H31予算	H30予算	増減	摘要
島根県	地域振興部	514	472	42	しまね暮らし推進課
	環境生活部	20	24	▲4	NPO推進室
	商工労働部	174	168	6	雇用政策課
	小計	708	664	44	
厚生労働省		22	22	0	若年者地域連携事業
財 団		14	46	▲32	
計		744	732	12	



県、市町村、関係機関等と連携しながら、「若年者の県内就職の促進」、「県外からのU I ターンの促進」、「活力と魅力ある地域づくりの推進」を着実に進め、人材の地元定着と県外からの流入による人口の社会増スパイラルを生み出す。

Ⅱ. 若年者の県内就職の促進の主要事業

1. 就職フェア等の状況

①企業ガイダンス(合同説明会)

	2019卒向け (H29～H30年度)			2020卒向け (H30年度)		
	開催日・場所	参加者数	企業数	開催日・場所	参加者数	企業数
県内 ガイダンス 12月:企業博	H29.12.28松江	414人	134社	H30.12.28松江	356人	164社
	H30.3.3松江	514人	207社	H31.3.4松江	—	—
	H30.3.14浜田	41人	42社	H31.3.20浜田	—	—
	H30.4.29浜田	62人	81社			
県外 ガイダンス	※H30.1.13東京	61人	30社	H30.12.1東京	17人	9社
	※H30.3.17大阪	102人	95社	H30.11.10大阪	16人	15社
	※H30.3.24広島	53人	73社	H30.11.17広島	33人	13社

- ・ 県外ガイダンスの※は鳥取との合同開催分
- ・ H30年度から、就職支援協定校と連携した合同企業交流会「しまねの仕事コレクション」を単独で実施

②就職フェア(面接会)

	2018卒向け (H29年度)			2019卒向け (H30年度)		
	開催日・場所	参加者数	企業数	開催日・場所	参加者数	企業数
県内 就職フェア	H29.6.10松江	215人	123社	H30.6.16松江	186人	130社
	H29.8.12松江	170人	118社	H30.8.11松江	105人	120社
	H29.10.14松江	53人	50社	H30.10.15松江	52人	49社
	H30.1.20松江	15人	15社	—	—	—

(注)H30.1.20のフェアは、2018卒生及び一般求職者を対象としたトリプルC企業説明会として実施

③インターンシップの状況

	H28年度			H29年度			H30年度		
	夏期	春期	計	夏期	春期	計	夏期	春期	計
申込企業数(社)	140	112	252	167	145	312	174	111	285
マッチング企業数(社)	111	75	186	122	53	175	111	38	149
申込学生数(人)	342	124	466	332	104	436	330	79	409
参加者数(延数)	325	128	453	326	110	436	338	(注)79	417

夏期:8月～9月末、春期:2月～3月末

(注)H30年度の春期は、マッチング件数

H30の状況

企業の参加意欲は高く、申込企業数は増加している一方、参加学生数は減少傾向である。学生と接する貴重な場の提供はできているものの、十分な数の学生を企業とつなげることができておらず、企業側の満足度を満たすのが難しい状況

その要因としては、就活の早期化・効率化、売り手市場・大手志向や就活イベントのインフレ状態が想定される。

H30年度は、県外企業ガイダンスの開催手法・時期を見直し、就職活動解禁前の11月から12月に東京・大阪・広島において、県と「就職支援に関する協定」を締結している県外大学（以下「就職支援協定校」という。）と連携し合同企業交流会（業界研究“しまねの仕事コレクション”）や低学年次の学生を対象としたしまね企業交流セミナー（しまねタイム）を拡充し実施

H31の事業展開

(1)企業と学生の出会いの場の充実

①効果的な就活イベントの実施

近年の学生の就活動向を鑑み、以下を実施

- ・就職支援協定校と連携し、合同企業交流会（しまねの仕事コレクション）を東京、大阪、広島で各1回開催
- ・県内企業ガイダンスや就職フェアへの参加を促すため、都市部（大阪、岡山、広島）から無料バスを運行
- ・UIターンフェア全会場において、学生向け企画を実施

②インターンシップの促進

- ・大学生等インターンシップへの参加者に対する宿泊費の助成に加え、交通費を助成(拡充)
- ・企業のインターンシップ受入プログラム強化のためのセミナーの実施

③しまね企業交流セミナーの実施

県内就職の魅力を伝えるため、都市部（東京・大阪・山陽）において低学年次の学生を対象とし、島根県内で活躍する企業人・社会人と学生が交流するセミナー（しまねタイム）をより学生に響く内容で実施

④UIターン志望学生の就職活動への助成(新規)

県外の学生等が県内企業における就職活動に係る面接に参加するための交通費や宿泊費を助成

- ・対象者: 県外の大学等に在籍する学生
- ・要件: 県内企業が開催する説明会等に参加し、片道1万円以上の交通費を要する者
- ・補助率: 1/2
- ・上限額: 年3万円/人

(2) 学生に向けての情報発信力の強化

① 学生登録制度の推進

登録者数は、2月末現在で 11,400 人と順調に延びている。学生に向けてタイムリーに適切な情報(学年に応じた情報)を伝えるため、高等学校と連携しながら、学生登録を強力に推進する。高等学校には、登録の呼びかけや進学先情報の提供(H27.3 より)などで引き続き協力を依頼

② 大学との連携強化

県内大学のキャリアセンターや就職支援協定校を中心に就活イベントやインターンシップ等への参加の呼びかけ等において継続して連携

(3) 保護者・教員へのアプローチ

① 大学保護者会を通じたのアプローチ

県内外の大学が県内で開催する保護者会において、県内就職を取り巻く状況や県内企業の魅力、学生登録の呼びかけを引き続き実施

② 保護者向けのセミナー

合同企業ガイダンス等に併せて保護者のための就活セミナーを引き続き実施

③ 教員へのアプローチ

高校・特別支援学校の教職員に県内企業を知ってもらうための、教員向けバスツアーを県にて引き続き実施

(4) 企業情報発信力の強化

県内企業向けの採用力強化のためのセミナーを実施

Ⅲ. UIターン推進関連の主要事業

1. UIターンフェア等の開催・集客状況

H30の状況

UIターンフェアの来場者数が過去最高を記録

- ・東京・大阪会場に加え新たに広島会場でも企業ブースを設置
- ・東京会場を初の2日間開催とし相談体制を強化
- ・ウェブ広告や新聞広告による情報発信の強化
- ・子育て世帯の来場者のために託児スペースを全会場設置

【UIターンフェアの開催状況】

	H26	H27	H28	H29	H30	開催日・場所
東京	551	647	867	905	1,302	10/20・21 東京国際フォーラム
大阪	390	387	517	484	528	9/2 コングレコンベンションセンター
広島	181	246	214	269	253	1/27 基町クレド
計	1,122	1,280	1,598	1,658	2,083	H30-H29 +425

【財団・他団体 主な相談会等】

名称	開催日・場所	H30実績			(参考)H29		
		全体	相談者数		全体	相談者数	
		来場者	組数	人数	来場者	組数	人数
しまねUIターン相談会 in大阪	6/24 梅田スカイビル	157	51	67	121	24	27
しまねUIターン相談会 in東京	7/22 東京交通会館	131	36	45	152	44	57
しまねUIターン相談会 in大阪	12/2 梅田スカイビル	156	49	66	121	32	42
しまねUIターン相談会 in東京	1/13 東京交通会館	139	60	78	97	23	28
ふるさと回帰フェア in大阪	7/28 大阪	2,618	14	21	3,259	11	14
ふるさと回帰フェア in東京	9/9 東京	20,686	18	19	16,543	19	23

H31の事業展開

①情報発信の強化

- ・UIターン総合情報サイト「くらしまねっと」への生活費シミュレーション機能を追加し情報発信を強化
- ・移住希望者向けに応援カードを発行し、移住を促進（新規）
県内の各種割引サービス等(宿泊料、レンタカーなど想定)を利用できる仕組みを構築

②UIターンフェアの充実

- ・本年度に引き続き、東京・大阪・広島の全会場に企業ブースを設置
- ・東京会場の2日間開催を継続

③受入体制の強化

- ・UIターン者の定着を図るため、移住者と関わりを深める活動(移住者受入型体験プログラム)を実施する団体を支援
 - ・助成額 100千円以内/1プログラム
 - ・人数 移住者(移住後5年以内)1人以上、総人数5人以上
 - ・条件 地域資源を活用したプログラム

2. 無料職業紹介事業の状況

H30の状況

2月末の就職決定者数は、294人と前年同期と比べ16人上回っており、このまま順調に推移すれば、過去最高を記録した前年度を上回る可能性が高い。

【マッチング件数の推移】

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
就職 決定者	H29	30	30	30	27	33	15	17	20	30	23	23	27
	累計	30	60	90	117	150	165	182	202	232	255	278	305
	H30	20	20	24	27	25	23	25	30	30	33	37	
	累計	20	40	64	91	116	139	164	194	224	257	294	
	大田以西	5	5	6	8	8	5	6	5	12	9	7	
	石見事務所	4	4	6	8	8	5	6	5	12	9	7	

H31の事業展開

- ・求職者へのきめ細やかなマッチングを実施
- ・「くらしまねっと」の企業求人情報の充実と求職者へのスカウト機能の活用促進（拡充）
- ・わくわく島根生活実現支援事業の開始に伴い、「くらしまねっと」を国の仕様にあわせて改修（新規）

※東京23区在住者又は23区への通勤者が島根県へ移住し、マッチングサイト（「くらしまねっと」）に登録された県内中小企業等へ就職した場合に市町村が移住支援金を交付

3. 産業体験事業

認定年度	H26	H27	H28	H29	H30 2月末	累計 (H8~30)
認定者	81	83	90	90	75	1,914
体験修了者	81	83	90	65	4	1,818
うち定着	55	70	72	58	0	906
定着率	67.9	84.3	80.0	89.2	0.0	49.8

※認定者数 対前年2月末に比べ+2人

H31の事業展開

- ・近年の体験者数の伸びに応じた十分な予算額を確保
- ・各種相談会でのきめ細やかな相談対応を実施
- ・「くらしまねっと」の産業体験受入先情報の質の強化（拡充）
- ・定着率向上のため、きめ細やかな体験者へのフォローや関係機関との連携を強化

※しまね暮らし短期体験事業（しまね暮らし短期体験プログラム）及びしまね暮らしお試し体験施設は、市町村が独自に実施する事例も出てきたため、H30年度をもって事業終了

→しまね暮らしお試し体験施設は、土木部のしまね定住推進住宅整備支援事業のメニューに市町村が整備する「お試し暮らし体験住宅」への助成を追加し対応

IV. 活力と魅力ある地域づくりの関連の主要事業

1. 地域づくり支援

①地域づくり応援助成事業

地域活性化や地域の課題解決に資する活動であって、団体の立ち上がり期やこれから開始する活動に対する助成を実施

H30の状況

【立ち上げ支援事業】

第1回審査会（8月16日）申請 5件 → 採択 4件

第2回審査会（1月23日）申請 7件 → 採択 6件

事業主体（地域）	事業名	決定額 （千円）
i n o 明神クラブ(浜田市)	小さな交流拠点城山の里ミニコテージ「自然荘友楽」を核とした地域創生事業	200
金山農村振興会(松江市)	軽トラ市・狼煙・法螺貝・火縄銃で地元野菜の販売強化	500
五箇こぞって会(隠岐の島町)	五箇地域の人と人、世代や集落を超えたつながりづくり	440
特定非営利活動法人はすみ振興会(邑南町)	羽須美地区デマンド交通事業	226
ミホツ姫命稲穂の会(松江市)	美保関まるごと体験プログラム～地域の自然と環境から学ぶ～	500
松江スポーツアクティビティー(松江市)	宍道湖畔のスポーツ推進と観光資源の発信	500
しまね協力隊ネットワーク(雲南市)	しまね協力隊ネットワーク化プロジェクト	266
NPO法人ともに(奥出雲町)	ともに暮らす「生活支援活動ともに」	500
出雲古志古民家塾(出雲市)	出雲茅葺工務店	400
弓市リノベーションプロジェクト(川本町)	まちに元気と挑戦をもたらすコミュニティカフェ事業	400

【事業化支援】

第1回審査会（8月23日）申請 2件 → 採択 2件

第2回審査会（1月17日）申請 9件 → 採択 8件

事業主体（地域）	事業名	申請額 （千円）	
公益	里山照らし隊(雲南市)	農村環境と自然資源で里山を照らす！	1,000
	NPO法人あったかいねっと(浜田市)	共生の森づくりプロジェクト	2,000
	特定非営利活動法人NPO—MASUDA(益田市)	いきいきと高齢者が活躍する“けやき学園”リーダー養成講座プロジェクト	1,034
	園山俊二の会(松江市)	地域活性化事業「新しい時代！園山俊二が甦える！」	1,850
	え～ひだ 逢♡愛会(安来市)	え～ひだ逢♡愛で元気ある豊かな地域づくりをしよう	717

経済	株式会社V i s F a c t o r y (松江市)	小波地区の魅力の世界におすそ分けプロジェクト	2,000
	TAKARAMON (松江市)	イノベータ×チャレンジ～お試し店舗とシェアスペース等の古民家活用による多創造複合施設S U E T U G U	2,000
	自然教室 そらやま(松江市)	島根の自然で子どもを育てるプロジェクト	868
	E X P e ' (松江市)	松江型インバウンド活性化プロジェクト「おせわさん」	2,000
	やさか加工グループの会 (浜田市)	耕作放棄地を減らし、地域に笑顔を増やそう事業	1,228

H31の事業展開

- ・立ち上げ支援と事業化を統合の上、事業実施
- ・助成申請案件の掘り起こしとサポートをきめ細やかに実施
- ・採択団体の取組みや成果について情報発信を強化

②県内版しまコトアカデミー(新規)

地域活動に関心のある若者等を対象に地域活動への関わり方を学ぶ、座学とフィールドワークを組み合わせた連続講座を実施

③多様な資金調達手法支援事業(新規)

地域活性化や地域課題の解決に資する活動を行う団体・個人の組織基盤強化・資金力強化のため、多様な資金調達手法の支援を実施

- ・多様な資金調達セミナー
- ・クラウドファンディング伴走支援(アドバイザー派遣)

④地域おこし協力隊の支援(新規)

県から業務の一部(募集・研修会・交流会)の移管を受け、地域おこし協力隊の定着率アップ等に向けて、県と連携して支援を実施

⑤地域づくりフォローアップ(相談・派遣)

年度	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0 2月末
訪問・相談	133	362	528	647	553
A D派遣	9	12	19	20	20

地域づくり活動に関する相談やアドバイザー派遣件数は増加傾向にあり、件数増加に対応した予算を確保するとともに引き続ききめ細やかな相談対応等を実施

⑥地域づくり情熱人支援事業

新たなコミュニティービジネスや継続的な地域づくり事業等の創出を目的として、県内外から外部人材（情熱人）を確保して事業に取り組む場合に体験費用を助成

H30の状況

・審査会（9月20日）申請9件 → 採択8件

団体名(活動地)	事業概要
知夫里島農山漁村協議会 (知夫村)	島の伝統を活かした体験、海産物を使った体験を島外からお客様に提供
五箇こぞって会 (隠岐の島町)	人から人へ知恵つむぎ、人生の先輩から子ども達へ (世代間の交流と文化伝承)
双湖事業化計画合同会社 (松江市)	大根島でゲストハウス「ココリト大根島」の運営 収穫・創作体験事業を実施
古代出雲薬草探究会 (出雲市)	出雲國風土記掲載植物の勉強会やイベント、薬草展示室の運営を英語に翻訳することで海外や日本在住外国人に向けて情報を発信する。
一般社団法人弥禮 (邑南町)	中山間地域の価値をカタチにし、地域内外にその魅力を伝え、交流人口・定住人口の増に結び付ける。
ミホツ姫命稲穂の会 (松江市)	自然体験スクールの開催により、豊かな美保関の自然環境を活用し、自ら学んで考える生きる力や豊かな社会性を持った子どもを育む。
株式会社V i s F a c t o r y (松江市)	まちの魅力を「住人」や「商店」などの人に焦点をあてて、まちの魅力を発信する。
株式会社シマネプロモーション(松江市)	島根の作り手が持つ技術や素材の特性に沿った商品開発・ブランド立ち上げプロジェクトを展開

※H28年度の事業開始から3年経過したこともあり、H30年度認定分をもって事業終了

2. しまね田舎ツーリズム

H30の状況

- ・実践者向けの県内、県外での各種研修会に加え、リスクマネジメント研修を実施
- ・田舎ツーリズムプログラム開発として、雲南市、大田市でモニターツアーの受入れを実施
- ・実践者の高齢化や住宅宿泊事業法(民泊新法)などの法律に基づく手続きなどにより、実践者の減少が懸念される。

H31の事業展開

- ・既存の実践者への支援や新規実践者の掘り起しを推進するために、体制を強化
- ・体験メニューの魅力化支援として、個々の実践者が収益をあげるためのセミナーの開催や既存体験メニューの魅力化を図るための経費の助成（新規）
対象経費：外部講師の招聘、先進地視察、モデルツアーの開催経費など

3. 社会貢献活動の促進

H30の状況

- ・ NPO入門講座やNPO法人として必要な事務手続きについて学ぶ「事務局セミナー」等の実務者研修に加え、法人の透明性の確保や業務遂行能力の向上を図るための「ガバナンスセミナー」を実施
- ・ 2年目を迎える「中山間地域・離島におけるNPO創出のための伴走支援事業」は、引き続き隠岐の島町、美郷町、津和野町の3か所で「ソーシャルデザインスクール」を開催し、スクール生による事業プランの発表と事業化に向けた支援を実施

H31の事業展開

- ・ 引き続き実務者研修や報告書作成などテーマを設定した研修の実施及び専門相談、出張相談を実施
- ・ 3年目を迎える「中山間地域・離島におけるNPO創出のための伴走支援事業」は、スクール生同士の交流、2年間で事業化にまで至らなかったスクール生のプランの事業化に向けた支援を実施

V. 財団提案事業

(1)「農業・農村はカッコいい！」和歌募集事業

“農業・農村はカッコいい”を表現した和歌を広く募集し、優秀作品を表彰・顕彰することにより、新たな農業従事や農村移住へつなげるきっかけとする。

(2)ルネッサンス青年団事業

若者による地域活性化に向けた地域活動の強化や、新規就業者の職場定着を目的として、かつての青年団活動のように職場を超えた交流の場、出会いの場を設ける活動を支援

VI. 財団の人員・組織体制

(1) プロパー職員の採用

退職補充 1 名及び新規事業（わくわく島根生活実現支援事業、県内版しま
コトアカデミー、地域おこし協力隊支援等）に対応するための 2 名の計 3
名を採用

※プロパー職員 15 名体制

(2) 教育庁との連携 ※継続

H23 年度から現職の教員を受入
学生登録の強化、教員の企業訪問、内定者の研修、就職後の交流会等、企業
と学校・学生をつなぐ役割（定数外）

(3) スタッフの増員

新規事業対応等のためスタッフを 2 名増員

UIターン志望学生の就職活動助成への対応 1 名(ジョブカフェ事業課)

田舎ツーリズムへの対応 1 名(石見事務所)